



『 関わる力 』



- (1) 公共物に感謝して生活しよう
- (2) 冬休みの計画を立てよう

12月の下校時刻
16:30

龍中最初の冬休みまで残り17日となりました

龍中最初の冬休みまで、残すところあと17日の登校となってしまいました。昇龍祭・新入大会・龍響フェスティバルと、行事に後押しされながら月日が過ぎ去っていきました。生徒たちは、開校初年度の1回目の行事に精一杯取り組みながら、一回りも二回りも精神的に成長することができたように感じます。各行事とも実行委員やリーダーが活躍して、生徒主体の自治的な活動にすることができてきています。

さて、澄みきった夜空に冬の星座がこぼれんばかりの輝きを見せてくれる季節となり、朝晩は肌寒さを感じる日が増えてきました。肌着を工夫したり、**防寒着や手袋等で防寒対策をする**などして、**体調管理**をお願いいたします。以下に**冬期の服装**について掲載させていただきますので、ご確認ください。

【制服】制服の下に着るもの(セーター類)は、**華美でないものとする**。**制服の上には着用しない**

【靴下】黒のタイツを着用してもよい。足先まで覆われていないタイツでも着用は可であるが、靴下とタイツの間から肌が見えないような長さのものを着用する。ただし、**ハーフパンツとの組み合わせは不可とし、原則、長ズボンを着用する**

【防寒着】防寒着は、**華美でないウィンドブレーカー、Pコート、ダッフルコートとする**

思春期の子どもたちについてⅡ

先月に続き「思春期の特徴」について、生徒の心と体の状態や変化の様子をお知らせさせていただきます。ご活用ください。

○客観的に周りが見えてくる時期

- ・大人や社会など外へ向けての疑問、反発、反抗が強くなる時期。
→自分の家族・家庭の在り方が当たり前と思っていたが、他の家族・家庭が見えてきて疑問が起ってくる時期。
- ・クラスや友人関係で自分の在り方、立ち位置がわかってくる時期。
→自分の置かれている状況を受け入れられない場合がある。自分では、どうしようもないことへの怒りを感じるケースもある。どうすれば「変えられるか」、「抜け出せるか」は見えない状態。
- ・疑問、反発を「外へ向けることができない」、「向けたが理解されない」、「何も変わらなかった」を経験する時期。
→慢性的な怒りから → 無力感 → 現状がずっと続くという、どうしようもない哀しみ → 絶望感

○他者に認められることを必要とする時期

- ・「自分はこういう人間なんだ」と自分だけで主張するのではなく、**その主張を周りの人に認められることが必要**。
- ・「自分」というものが認識できるようになるには、「周りが自分を認め」、「自分を受け入れてくれた」という感覚が必要。**周りが認められているかどうか非常に大きく響く時期**。
- ・対人関係での問題に敏感で、「認められていない」、「受け入れてもらえない」と思いやすい時期。
- ・柔軟に考えることができず、すぐに絶望へと結びつきやすい。「自分に価値がない」、「存在しても意味が無い」、「誰も自分を必要としない」、「自分なんかなくてもいい」、と悲観しやすい時期。